

＜対策のポイント＞

輸出重点品目であるホタテガイ、マガキの二枚貝養殖では気候変動により大量斃死や親貝減少による採苗不振等が発生し、漁業経営に甚大な被害を及ぼしています。その根本的な対策として、人工飼料を用いた二枚貝の陸上養殖システムを世界に先駆けて構築することにより、気候変動の影響に左右されない国産二枚貝を安定供給する技術の確立と水産物輸出額の拡大を目指します。

＜事業目標＞

当該技術体系を開発するにあたり、当面の課題となる閉鎖循環システムや人工飼料の研究開発を実施

＜事業の内容＞

1. 二枚貝用閉鎖循環式陸上養殖システム（RAS）の開発

312百万円（前年度－）

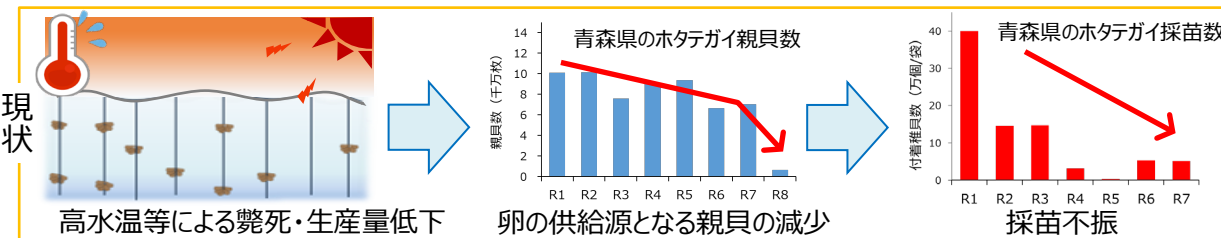
従来の魚類向けRASとは根本的に異なる、二枚貝養殖に特化した世界初のRASを開発します。あわせて、海面養殖において深刻化している天然種苗不足を解消するための親貝養成技術の開発に取り組むとともに、陸上養殖の特性を活かし、身入りの良い高品質な二枚貝の周年安定生産と、貝毒の原因となる有害プランクトンや病原ウイルスの混入遮断による安心・安全な二枚貝の供給を実現します。

2. 人工飼料等の開発

85百万円（前年度－）

二枚貝の陸上養殖を実用化する上で最大の難関である餌の確保の問題を解決するため、二枚貝用人工飼料を開発します。

＜事業イメージ＞



1. 陸上閉鎖循環システムの開発

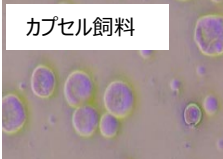
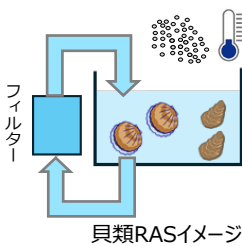
課題1：二枚貝は水中に漂う植物プランクトンを取り込んで成長するため、餌を除去せずに飼育水だけを浄化できるシステムの開発が必要

課題2：斃死による親貝不足で深刻な採苗不振が発生。養殖生産の継続性に大きな懸念

2. 人工飼料の開発

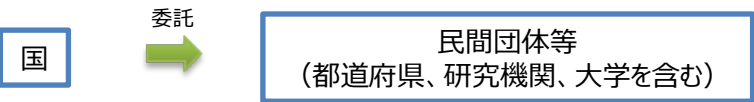
課題3：二枚貝は植物プランクトン以外を餌として認識しないため、餌として認識する人工飼料の開発が必須

課題4：社会実装と輸出の拡大には高品質化や計画的生産による単価アップが鍵



高品質の二枚貝を安定生産

＜事業の流れ＞



取組1：水中の餌を除去せずに飼育水を浄化できる、二枚貝養殖に適したRASの開発

取組2：人工種苗生産のための成熟促進や、身入り向上といった用途に合わせた陸上水槽での二枚貝の養成技術の開発

取組3：調達や管理が容易な、特殊なカプセルに入った二枚貝用人工飼料を開発